

平成 28 年度(2016 年度)事業計画書
平成 28 年(2016 年)4月1日～平成 29 年(2017 年)3月 31 日

現代演劇の振興に関する事業

1. 現代演劇に関する公演、普及啓発事業

(1) 高校生のための巡回公演 (芸術文化振興基金に申請中)

昭和 49 年度より文化庁の国庫金補助事業として実施。平成 2 年度からは芸術文化振興基金<現代舞台芸術創作普及事業>として実施している。

巡回作品は、平成 27 年 10 月 6 日開催の選考会で選考。

企画/公益社団法人日本劇団協議会

●期間と地域

平成 28 年 5 月～12 月 東京都ほか 1 道 2 府 26 県 5 作品 100 回

●演目、制作団体、回数

① 『オールライト』 制作/青年劇場 (25 回)

作/瀬戸山美咲 演出/藤井ごう

出演/武田史江、杉本光弘、奥原義之 ほか

② 『チャージ』 制作/銅鑼 (25 回)

作/田口萌 演出/西川信廣

出演/説田太郎、馬淵真希、竹内奈緒子、永井沙織、福井夏紀、向暁子、山形敏之

③ ミュージカル『げんない』 制作/わらび座 (20 回)

作・作詞・演出/横内謙介

出演/三重野葵、鈴木裕樹、丸山有子 ほか

④ 大型人形劇『三國志』総集編 制作/影法師 (20 回)

脚本/ジェームス三木 演出/小森美己

出演/神山晃人、和田覚、湯原満、葛西千里、田中崇、霍猛 ほか

⑤ 『ダイアル ア ゴースト ー幽霊派遣会社ー』 制作/うりんこ (10 回)

原作/エヴァ・イボットソン 脚色・演出/山崎清介

出演/原田邦英、大谷勇次、青山知代佳、下出祐子、内田成信、牧野和彦、新美英生 ほか

(2) 都立高等学校 定時制通信制課程演劇鑑賞教室 (東京都教育委員会主催事業)

平成7年度から都の委託公演として、定時制高校生を対象にした合同観劇を実施。平成27年度は前進座制作の『くず〜い 屑屋でござい』を上演した。現在下記の内容で公募中。

企画／公益社団法人日本劇団協議会

演目／未定 (公募中)

平成29年1月25日(水)～27日(金) (3回) 会場＝銀座プロッサム中央会館

(3) 教育事業

現代演劇を普及するために教育的観点から推進する事業。

演劇と教育シリーズ vol. 8

検証ワークショップ、セミナー、シンポジウムなど

学校等でコミュニケーション授業／演劇ワークショップを実践しているファシリテーターのワークショップを実際に体験し、終了後に参加者全員でディスカッションする「検証ワークショップ」のほか、演劇鑑賞教室や演劇教育を充実・発展させるため、様々な分野の関係者を招聘し、課題解決をはかるためのセミナー、シンポジウムを実施する。

(4) ステップアップ・プロジェクト

～芸術水準の向上と鑑賞機会の充実により、現代演劇の振興発展を図る～

(文化庁「戦略的芸術文化創造推進事業」に申請中)

国が提示した芸術文化振興における課題を解決し、我が国の芸術水準の飛躍的向上と優れた実演芸術の鑑賞機会の充実を図る事業。平成26年度からスタート。

主催／文化庁・公益社団法人日本劇団協議会 制作／公益社団法人日本劇団協議会

地方や離島・へき地において優れた実演芸術の鑑賞機会を提供する取組

劇場施設が充実していないことから、今まで優れた演劇に触れる機会の少なかった離島・へき地の居住者に、実演芸術の楽しさを伝えられるよう、鑑賞機会の充実を図ることを目的とした事業。平成26年度には『素劇 あゝ東京行進曲』を沖縄の離島で上演。

『銀の滴 降る降るまわりに』 北海道へき地公演

原作／窪島誠一郎 作／杉浦久幸 演出／黒岩亮 美術／柴田秀子 照明／桜井真澄
音響／高橋巖 舞台監督／鳴海宏明 コーディネーター／浦川治造(東京アイヌ協会名誉会長)
出演／佐々木愛、阿部勉、米山実、沖永正志、白幡大介、春稀貴裕、皆川和彦、藤原章寛、高橋未央 ほか

プロデューサー／中山博実(文化座)

平成28年11月27日～12月3日(3回)

会場／岩内地方文化センター、登別市民会館、阿寒湖・アイヌシアター

2. 現代演劇に関する人材育成事業

(1) 日本の演劇人を育てるプロジェクト

～トップレベルの演劇人を多面的に育成し、現代演劇の振興発展を図る～

(文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」に申請中)

これまで実施してきた事業を再構築し、統括団体ならではの広い視野で様々な人材育成事業を行い、世界に通用する創造性豊かな新進芸術家（演劇人）を育成する。

主催／文化庁・公益社団法人日本劇団協議会 制作／公益社団法人日本劇団協議会

① 「日本の劇」戯曲賞 2016

最優秀賞に選ばれた作品は必ず上演される戯曲賞。平成 22 年度より文化庁の委託事業として実施。平成 27 年度は 58 作品の応募の中から一次選考で 10 作品が選ばれ、最終選考の結果、西史夏氏の『檸檬の島』が最優秀賞に決定した。

最終選考委員／板垣恭一、上村聡史、内藤裕敬、中屋敷法仁、宮田慶子（予定）

応募締切／6 月 30 日 最終選考会／8 月（一次選考は 7 月）

② 「日本の劇」戯曲賞 2015 最優秀作品上演公演

前年度の「日本の劇」戯曲賞最優秀賞作品を上演する事業。平成 27 年度は原田ゆう氏の『君は即ち春を吸ひこんだのだ』を板垣恭一氏の演出で恵比寿・エコー劇場において上演した。

『檸檬の島』

作／西史夏

演出／中屋敷法仁 美術／土岐研一 照明／松本大介 舞台監督／川除学

プロデューサー／吉田健二

平成 29 年 3 月 10 日～15 日（7 回） 会場／恵比寿・エコー劇場

③ 新進芸術家海外研修の成果公演

文化庁新進芸術家海外研修制度（平成 13 年度までは芸術家在外研修、14 年より 20 年度までは新進芸術家海外留学制度）により研修を行った若手芸術家に研修成果を発表する機会を提供するという事業。平成 17 年度より実施しているが、23 年度からは新たな枠組みの中で実施している。

『フィルメーナ・マルトゥラーノ』(仮)

作／エドゥアルド・デ・フィリップ 翻訳／二宮大輔 演出／高橋正徳（平成 23 年度派遣）

出演／山崎美貴（平成 10 年度派遣）、井上倫宏（平成 17 年度派遣）、

山本道子（平成 19 年度派遣）、椎原克知（平成 18 年度派遣） ほか

プロデューサー／森正敏（青年座）（平成 11 年度派遣）

平成 28 年 8 月 2 日～7 日（7 回） 会場／青年座劇場

④ 新進演劇人育成公演

舞台芸術分野の優れた新進演劇人で発表の機会に恵まれない者に、発表の機会を提供することにより、新進芸術家の育成を図る事業。平成 14 年度から文化庁の委嘱事業として実施していた「新進芸術家公演事業」を引き継ぎ「次世代を担う演劇人育成公演」として、平成 17 年度から 21 年度まで文化庁芸術団体人材育成支援事業として実施してきたが、平成 23 年度から再構築し、新たな枠組みの中で[劇作家部門][演出家部門][俳優部門]と部門別に実施することにより事業の趣旨を明確にし、さらなる成果を期待する事業。

【演出家部門】

『アヒルと鴨のコインロッカー』

原作／伊坂幸太郎 脚本・演出（育成対象）／ほさかよう
出演／首藤健祐、石川よしひろ ほか
プロデューサー／仲村和生（演劇集団キャラメルボックス）
平成 28 年 9 月 14 日～19 日（8 回） 会場／ザ・ポケット

【俳優部門】

A 『鳥』

出演（育成対象）／市川薫、彦素由幸、吉村鯨太、成田愛花
その他の出演／斎藤歩、木村洋次、佐藤健一、高子未来、東海林靖志
原作／アリストパネス 脚色・演出／清水友陽
プロデューサー／木村典子（札幌座）
平成 28 年 7 月 8 日～14 日（8 回） 会場／シアターZOO

B 『 Begitu Bagus ! 』

出演（育成対象）／若林健吾、田中俊裕、千葉健玖、江口翔平
その他の出演／大塚庸介、甲津拓平、中野亮輔 ほか
作・演出／倉田淳
プロデューサー／揖斐圭子（スタジオライブ）
平成 28 年 7 月 16 日～28 日（16 回） 会場／ウエストエンドスタジオ

C 『 ケンジの森のバス停 』

出演（育成対象）／橘楓、小池のぞみ、小野禎治、荒井晃恵、廣瀬大智、川澄洋介
その他の出演／阿部伸勝、有馬理恵、大島大二郎、佐京翔也、成澤奈穂、川崎正絵
作・演出／志村智雄
プロデューサー／斎藤真（俳小）
平成 28 年 9 月 14 日～18 日（8 回） 会場／劇・小劇場

D 『阿国燦々～いざや傾かん～』

出演（育成対象）／徐梨恵、谷口真規、丸林みい、志村友美、鈴木かえり
その他の出演／上田定行、なかとしお、佐藤融、稲吉直人、末吉康治、山口庸平、
伊藤順一、山本将起、寺本久美子、後藤好子、みやちともこ、森裕紀子、飯野久美子、
堀優子 ほか
作／ふじたあさや 演出／木村繁
プロデューサー／森釗（俳優館）
平成 28 年 12 月 7 日～11 日（7 回） 会場／名古屋能楽堂

E 『メカニズム作戦』

出演（育成対象）／木場允視、関谷春子、大浦千佳、山下直哉、後藤三四郎、佐原由美
その他の出演／白井圭太、神在ひろみ ほか
作／宮本研 構成・演出／流山児祥
プロデューサー／流山児祥（流山児★事務所）
平成 29 年 1 月 13 日～29 日（18 回） 会場／Space 早稲田

⑤ 新進演劇人集中講座

国内外の優秀な指導者によるワークショップ。将来を期待される全国の新進演劇人に広く門戸を開き、統括団体ならではの多様なシステムによる研修。

A シェイクスピア探究ワークショップ

平成 28 年 7 月 25 日～29 日、8 月 1 日～5 日
会場／スタジオニンバス
講師／フランコ・フィギュレド、クウォン・ローク、テレザ・アラウジョ
コーディネーター／白坂恵都子（演劇集団キャラメルボックス）

B エデュケーションワークショップ 2016

平成 28 年 8 月 8 日～10 日、11 日～13 日、14 日～16 日
会場／朋友芸術センター
講師：西海真理、渡辺貴裕、絹川友梨
コーディネーター／夏川正一（朋友）

C 日本の近代・現代劇へのアプローチ 西川信廣ワークショップ

平成 28 年 8 月 9 日～22 日
会場／文学座稽古場
講師／西川信廣
コーディネーター／佐藤竜太郎（文学座）

D 声優ワークショップ夏季集中講座

平成 28 年 8 月 19 日～21 日、23 日～24 日、26 日～28 日
会場／SET スタジオ、神南スタジオ ほか
講師／鈴木弘子、河口博、佐藤敏夫、藤山房伸 ほか
コーディネーター／八木橋修（SET）、野村道子

E 鴻上演劇研究所ワークショップ

平成 27 年①10 月 15 日 ②10 月 29 日～30 日 ③10 月 8 日～10 日
会場／新宿村スタジオ ほか
講師：鴻上尚史、板垣恭一、黒川竹春
コーディネーター／倉田知加子（サードステージ）

3. 現代演劇に関する調査研究事業

- (1) 正会員団体上演記録の調査研究
- (2) 正会員団体上演記録(学校公演)の調査研究
- (3) 演劇鑑賞団体等の公演実施状況の把握
- (4) 上記の調査を基にした研究会の実施
- (5) ステップアップ・プロジェクト

～芸術水準の向上と鑑賞機会の充実により、現代演劇の振興発展を図る～

(文化庁「戦略的芸術文化創造推進事業」に申請中)

国が提示した芸術文化振興における課題を解決し、我が国の芸術水準の飛躍的向上と優れた実演芸術の鑑賞機会の充実を図る事業。平成 26 年度からスタート。

制作／公益社団法人日本劇団協議会

芸術団体の経営基盤等の強化につながる取組『芸術団体における社会包摂活動の調査研究』

劇団・劇場が青少年・高齢者向けにどのような活動を行い、どのように社会的課題を解決しているのか事例を研究し、芸術団体の社会包摂活動が社会に与える影響や、芸術団体の経営基盤を強化する可能性を探ることを目的とした事業。平成 26 年度には『ファンドレイジングの調査研究』を実施。

4. 現代演劇に関する広報事業

- ①機関誌「join」の発行（年3回）
- ②日本劇団協議会ホームページの更新管理（随時）

そ の 他

- (1) 会議等・懇談会の開催および折衝
- (2) 「日本劇団協議会ニュース」の発行（随時）
- (3) NHK・民放各社との出演料の交渉、制作会社との折衝
- (4) 文化庁新進芸術家海外研修制度への協力
- (5) 他の団体との交流提携
芸術家会議、公益社団法人芸能実演家団体協議会（芸団協）、
一般社団法人映像実演権利者合同機構（PRE）、
東京都芸術文化団体協議会（都芸協）、全国演劇鑑賞団体 ほか